

基礎課程

NO	科目	担当
BC1	基本能力	主 山口 達也 副 濱田 将吾

背景と目的

林業技術において基礎となる能力・技術・体力を身につけ、林業現場での実践に向けて学ぶ、併せて、林業基本技術の習熟度の評価をする。

習得目標

- ・ 林業に必要な計算処理や情報処理が出来ている。
- ・ 林業に必要な基礎体力が出来ている。
- ・ 林業の基本技術・知識の習得度を評価し、基準点に達している。
- ・ 林業技能検定を受験する知識・技術に達している

内容

	科目内容	講師	座学	実習
1	林業算術 林業でよく使う求積公式、三角関数、単位換算などの基礎	長澤佳暁		4
2	情報処理 PCによるデータ入力・整理等(ワード、エクセル、パワーポイント)	高知ソフトウェアセンター		10
3	林業体育 林業に必要な基礎体力の育成(筋力・体幹トレーニング) トレイルランニング 山師達人選手権(練習及び大会)	基礎課程担当		15
4	林業基本技術 林業の基本技術の評価 [前期7月、後期12月、最終2月] 燃料識別鑑定	基礎課程担当		10
5	林業技能検定 技能検定(筆記) 技能検定(実技)	基礎課程担当		4 4
			0	47
			コマ数 計	47

評価方法と基準

出席	試験	成果物	取組姿勢	その他	
40%	10%		50%		ふりかえりシート

基礎課程

NO	科目	担当
BC2	安全衛生	主 山口 達也 副 濱田 将吾

背景と目的

林業は全産業の中で最も災害発生割合が高い産業である。
 労働災害発生の原因と安全対策を理解することにより、労働災害の発生を未然に防ぐとともに、救命救急措置を行うために必要な知識と技術を習得する。

習得目標

- ・ 労働災害の発生原因を理解し、対策を学ぶ。
- ・ 安全用具の目的と使用方法を理解して、使用できる。

内容

科目内容	講師	座学	実習	
1 林業労働災害防止 伐木道具の安全な取り扱い 資格、労働災害対策と心構え、安全防具の重要性 キックバック装置・ヘルメット破壊装置の体験 チェンソーブーツによる斜面歩行 チェンソー防護用品で体を守る リスクアセスメント、労働災害解説 騒音環境下作業者緊急伝達装置（キッツキハンマー）解説と実演 林業労働災害解説、伐木VRシミュレータ 就業にあたっての労働安全 ぶり縄・安全帯の取り扱い 防護衣の取り扱い	基礎課程担当	1		
	フォレスト高知	1	1	
	森林総合研究所		1	
	松本システム		2	
				2
				1
		1	1	1
		1	2	2
				1
				1
2 チェンソーワーク 安全な伐木作業のためのチェンソー操作の理解	技能教育研究所	2	6	
3 救命救急 救急法基礎講習の受講（4月） 山岳救命、斜面でのけが人のホールド、移送	日本赤十字社		2	
				2
4 熱中症とアナフィラキシーショック 蜂アレルギー抗体検査 熱中症とアナフィラキシーショックへの対策	職員厚生課 職員厚生課		2	
				1
		6	26	
		コマ数 計	32	

評価方法と基準

出席	試験	成果物	取組姿勢	その他	ふりかえりシート
40%		10%	50%		

基礎課程

NO	科目	担当
BC3	森林生態学	主 山口 達也 副 濱田 将吾

背景と目的

森林と樹木の構造を理解する。
樹木識別実習の中で樹木の特徴・生理学・効能について理解する。

習得目標

- ・ 樹木の構造や特徴を理解する。
- ・ 森林の樹木の種類や生育環境を理解する。

内容

	科目内容	講師	座学	実習
1	森林科学 樹木の生物学的な背景、構造	基礎課程担当	2	
2	樹木実習 樹木観察・森林の生態系	基礎課程担当		1
			2	1
			コマ数 計	3

評価方法と基準

出席	試験	成果物	取組姿勢	その他	
50%			50%		ふりかえりシート

基礎課程

NO	科目	担当
BC4	造林・育林技術	主 山口 達也 副 濱田 将吾

背景と目的

戦後の拡大造林により植栽された我が国の人工林は収穫期を迎えつつあり、今後は皆伐・再造林の機会が増加すると考えられる。先人によりもたらされた森林資源を活用するだけでなく、次世代へと繋げていくために、地拵え・鹿防護ネット・植栽・保育・間伐など林業の各段階で必要とされる施業とその目的を理解するとともに、施業ごとの作業手順や技術を習得する。

習得目標

- ・ 人工林の造成・育成に必要な施業の時期とその意味が理解できている。
- ・ 道具の使い方を正しく理解して、安全な作業が出来ている。
- ・ 地拵え・鹿防護ネット・植栽・保育・間伐までの一連の作業手順を学ぶ。

内容

科目内容	講師	座学	実習
1 造林・育林技術①（基礎知識） 造林技術（地拵え、植栽、鳥獣被害対策） 育林技術（下刈り、つる切り、保育間伐） 間伐技術（目標林型に応じた間伐方法） 育苗技術（種苗生産技術とコンテナ苗生産の現場） 一貫作業システム	基礎課程担当 森林技術センター 住友林業 四国森林管理局	4 2 3 1	3
2 造林・育林技術②（道具の取り扱い） 造林鎌の取り扱い 鉋・鋸の取り扱い	基礎課程担当 川端俊雄		4 4
3 造林・育林技術③（造林作業） 地拵え（ホリコ谷） 鹿防護ネット柵の設置（校内） コンテナ苗の植栽（ホリコ谷）	森林整備公社 中部森林管理署 森林整備公社		8 2 8
4 造林・育林技術④（育林作業） 下刈り（ホリコ谷） 保育間伐実習（北川村） 保育間伐実習（南国市立鷺ヶ池中学校）	森林整備公社 北川村内森林 鷺ヶ池中学校林		4 12 4
		10	49
		コマ数 計	59

習得目標

出席	試験	成果物	取組姿勢	その他	
50%			50%		ふりかえりシート

基礎課程

NO	科目	担当
BC5	森林・林業・木材産業	主 山口 達也 副 濱田 将吾

背景と目的

木材は持続可能な社会を実現する再生可能な資源であり、木材利用の大きな社会的役割のひとつはそこにある。

木材利用の重要性と、材料として木材を利用する際に理解しておきたい基本的な性質のほか、木材の流通と加工、CLTの利用状況、近年需要が伸びている木質バイオマス発電・熱利用の基礎を学ぶ。

習得目標

- ・ 木材利用の重要性が理解できている。
- ・ 木材の基本的な特徴・性質が理解できている。
- ・ 木材の流通及び加工工程を理解できる。
- ・ CLTの利用状況を学ぶ

内容

	科目内容	講師	座学	実習
1	森林・林業白書解説 高知県の木材増産に向けた取り組み	木材増産推進課	1	
2	木材利用 木材利用の基礎、製材工場等視察 木材市場の最適な造材と木取り 木材流通	高知おおとよ製材 物部ストックヤード	2	2 2
3	木質バイオマス 木質バイオマスの利用形態	土佐グリーンパワー		2
			3	6
			コマ数 計	9

評価方法と基準

出席	試験	成果物	取組姿勢	その他	
40%	10%		50%		ふりかえりシート

基礎課程

NO	科目	担当
BC6	林業機械	主 山口 達也 副 濱田 将吾

背景と目的

現在の林業において林業機械は、安全性や効率などを考えるうえで欠かせないものである。林業機械が普及してきた背景やその変遷を知り、現場に合わせた作業システムや林業機械の個々の特徴を理解する。

また、実習においてチェーンソー・刈払い機から高性能林業機械の操作を習得するとともに、日常点検と故障診断、林業機械を整備する知識・技術を習得する。

習得目標

- ・ チェンソーや刈り払い機を安全に取り扱うことができる。
- ・ 正確な伐倒のための技術を反復練習により習得できている。
- ・ 林業機械の種類や現場に応じた作業システムについて理解している。
- ・ 機械の日常点検を実施することができ、異常を察知できる。

内容

科目内容	講師	座学	実習
1 林業機械化論① 林業機械化の歴史、主要な林業機械の説明 最新の林業機械化事情と他産業における生産性向上に向けた取り組み	基礎課程担当	7	2
2 林業機械メンテナンス 可搬式林業機械のメンテナンス、ソーチェーンの製作、目立て 林業機械の整備（チェーンソー・集材機・架線設備） グラップルメンテナンス、アタッチメント脱着 工具の取り扱い	(実習講師) 基礎課程担当 川端俊雄 森本正延 フォレスト高知		21
3 林業機械実習（刈払い機） 機械操作、安全作業のための知識と実習 下刈り（校内）	(実習講師)		22
4 林業機械実習（チェーンソー） チェーンソー操作、安全作業のための知識と実習、大径木伐倒	(実習講師)		45
5 林業機械実習（伐木・造材・集材） ウィンチ付きグラップル機械操作、集材機操作、作業システムの基礎知識と実技 ワイヤースプライス	(実習講師)		43
6 林業機械化論② ハーベスタ・プロセッサの構造の理解と日常のメンテナンス エラーシグナルの診断と対策、修理方法について 架線・タワーヤーダの構造の理解(座学)とタワーヤーダの設置(実) ハーベスタシミュレータ・フォワーダシミュレータ	日立建機 山崎敏彦課長 基礎課程担当	4 2	 4 6 4
		13	147
		コマ数 計	160

評価方法と基準

出席	試験	成果物	取組姿勢	その他	ふりかえりシート
40%	10%		50%		

基礎課程

NO	科目	担当
BC7	森林計測	主 山口 達也 副 濱田 将吾

背景と目的

森林調査を行う上で基本となる地図の読み方やGPSの活用方法のほか、必要な測量技術と測量機器の操作を学ぶ。

習得目標

- ・ 地図やGPSから地理情報を把握することが出来る。
- ・ 森林調査に必要な測量技術や製図方法を習得できている。
- ・ ドローンの基本的な操作が出来る。
- ・ 3Dレーザースキャンを用いた森林情報の取得方法と活用技術を習得する。

内容

	科目内容	講師	座学	実習
1	森林情報① 地図の見方、地理情報の把握、境界確認の重要性と方法、GPS等を利用した森林測量 スマートフォン地図アプリの活用	基礎課程担当	1	6
2	測量設計技術 コンパス測量や製図など測量技術の基礎、作業道積算	基礎課程担当	1	11
3	木材の材積測定 森林の計測、木材の材積測定の基礎及び最適な木取りの方法	基礎課程担当	2	2
4	森林情報② 林業分野へのドローンの活用、操作実習 施業計画のための3Dレーザースキャンを用いた森林調査 森林3Dレーザースキャンの操作実習及びデータ分析	エレパ 基礎課程担当 仁淀川町	1	3 2 2
			5	26
			コマ数 計	31

評価方法と基準

出席	試験	成果物	取組姿勢	その他	
40%	10%		50%		ふりかえりシート

基礎課程

NO	科目	担当
BC8	路網作設	主 山口 達也 副 濱田 将吾

背景と目的

路網の作設技術として重機の特性や操作方法及び操作パターンを理解する。
地山の掘削及び盛り土、転圧方法の技術を学ぶ。

習得目標

- ・ 走行、旋回、掘削、埋め戻しなどバックホウの基本操作が出来ている。
- ・ 地山の掘削、盛土の転圧、法面整形など作業道開設に必要な基本作業が出来ている。
- ・ 周囲の安全に配慮した運転作業が出来ている。

内容

	科目内容	講師	座学	実習
1	作業道開設技術① [場内] 実習用バックホウの取り扱い、アタッチメントの交換方法 4WD車の取り扱い 複数の操作パターンによる機械操作及び掘削技術の習得 作業道開設方法	基礎課程担当 四万十町森林組合 フォレスト高知	1	27
2	作業道開設技術② [演習林内] 地山掘削、切土盛土、法面整形、路体の転圧、根株の処理方法	基礎課程担当 四万十町森林組合 フォレスト高知 川端 俊雄		33
			1	60
			コマ数 計	61

評価方法と基準

出席	試験	成果物	取組姿勢	その他	
40%	10%		50%		ふりかえりシート

基礎課程

NO	科目	担当
BC9	里山保全・活用	主 山口 達也 副 濱田 将吾

背景と目的

森林文化・多面的機能の効果を知るほか、里山資源の有効活用を図るため、地域の特色を生かした森林・林業に由来する特用林産物資源の活用や生産方法や、売方法を学ぶ。
里山の獣害被害を理解し、狩猟免許を取得する。

習得目標

- ・ 里山の景観、多面的な機能について理解する。
- ・ シイタケ栽培のための作業工程や技術を理解する。
- ・ シキミ・サカキ等の生産方法及び販売方法について学ぶ。
- ・ 中山間地域における鳥獣被害の現状を知る。
- ・ 捕獲・駆除にあたり関連する法令等を理解する。
- ・ わなの種類及び設置方法を理解する。
- ・ 狩猟免許を取得する。

内容

科目内容	講師	座学	実習
1 鳥獣被害対策 鳥獣被害の現状と対策 獣道の見つけ方、わなのかけ方 狩猟免許取得のための事前講習、復習 狩猟免許試験（わな猟） わな具の製作	鳥獣対策課 川端俊雄 高知県猟友会 基礎課程担当 高知県猟友会	2	1 4 3 2
2 特用林産 シイタケの栽培技術（ほだ木搬出、駒打ち） シキミ・サカキの栽培技術	川端俊雄 筒井純一郎 森林技術センター	1	4 2
3 自伐林家の里山活用 里山の活用状況の視察（特用林産、狩猟わな猟）	筒井純一郎		2
		3	18
		コマ数 計	21

評価方法と基準

出席	試験	成果物	取組姿勢	その他	ふりかえりシート
40%	10%		50%		

基礎課程

NO	科目	担当
BC10	技能講習・安全教育	主 山口 達也 副 濱田 将吾

背景と目的

林業技術者として就業するために必要な技能講習・安全教育を修得することにより、安全管理の必要性を理解するとともに、正しい知識を持って機械操作を習得するほか、安全作業に従事するために必要な知識と技術を学ぶ。

習得目標

- ・ 林業技術者として必要資格を習得する（12種類）
- ・ 機械の構造及び特性、操作方法を理解する。
- ・ 安全な作業を理解する。

内容

	科目内容	講師	座学	実習
1	玉掛け【技能講習】 玉掛け (学科： 13時間 実技： 8.5時間)		8	4
2	小型移動式クレーン運転【技能講習】 4tユニック車 (学科： 14時間 実技： 8.5時間)		8	4
3	車両系建設機械運転【技能講習】 ホイロローダー、バックホウ (学科： 14時間 実技： 26.5時間)		8	12
4	不整地運搬車運転【技能講習】 不整地運搬車 (学科： 8時間 実技： 5時間)		4	4
5	フォークリフト運転【技能講習】 フォークリフト (学科： 12時間 実技： 25.5時間)		8	12
6	伐木等の業務に係る『特別教育』 可搬式林業機械研修(チェンソー) (学科： 9時間 実技 9時間)		6	6
7	走行集材機械の運転業務に係る『特別教育』 車両系木材伐出機械(フォワーダ) (学科： 6時間 実技 6時間)		4	4
8	伐木等機械の運転業務に係る『特別教育』 車両系木材伐出機械(ハーベスタ) (学科： 6時間 実技 6時間)		4	4
9	簡易架線装置等の運転業務に係る『特別教育』 車両系木材伐出機械(スイングヤーダ) (学科： 6時間 実技 8時間)		4	4
10	機械集材装置運転業務『特別教育』 集材機 (学科： 6時間 実技 8時間)		4	4
11	刈払機取扱作業「安全衛生教育」 可搬式林業機械研修(刈払機) (学科： 5時間 実技 1時間)		3	1
12	はい作業従事者「安全教育」 安全教育 (学科： 5時間 実技)		4	
			65	59
			コマ数 計	124

評価方法と基準

出席	試験	成果物	取組姿勢	その他
		100%		

基礎課程

NO	科目	担当
BC11	インターンシップ	主 山口 達也 副 濱田 将吾

背景と目的

卒業後の具体的な就業をイメージするためには、希望する職場や業務の内容について、実際の現場で体験することは重要である。

また、校内の授業では経験出来ない実務を体験するとともに、その土地での暮らしを体験することにより、最終的な就職先の決定に活かす。

習得目標

- ・ 目的意識を持ってインターンシップに参加し、その成果を報告資料にまとめ、発表する。
- ・ インターンシップを通して、自らの就業先を選定することが出来ている。

内容

科目内容	講師	座学	実習
1 インターンシップ 各林業事業体 ① 令和7年8月19日 ～ 令和7年8月29日 ② 令和7年10月14日 ～ 令和7年10月24日 ③ 令和7年11月17日 ～ 令和7年11月28日 ④ 令和8年1月19日 ～ 令和8年1月30日	各林業事業体		36 36 40 40
2 インターンシップ関連 インターンシップ報告会①②③④（資料作成・発表） 卒業生との意見交換	基礎課程担当 高知林大卒業生		28 2
3 就業ガイダンス 会社説明会 求人票の見方、労働法について、仕事の仕方 キャリアアップ 自己PRの仕方、ガイダンス用PRシート作成	労働力確保支援センター ジョブカフェこうち キャリアサポートセンター 臼井浩二		8 1 1 4
4 ビジネスマナー 講師、林業事業体への対応マナー、自己PR、社会人としての基本意識、コミュニケーション等	近藤由枝		6
		0	202
		コマ数 計	202

評価方法と基準

出席	試験	成果物	取組姿勢	その他	ふりかえりシート
40%		10%	50%		